

令和6年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

科目名：経営学

この表紙の次には、「経営学」の試験問題が1ページある。

答案用紙2冊を配付するので、1冊に書ききれない場合は2冊目を用いて解答すること。

2冊とも、所定の欄に科目名を記入し、科目名の横に①、②と記載すること。答案用紙はすべて提出すること。

科目名 経営学

以下の問題すべてに解答しなさい。

問題1 経営戦略論における基本的な枠組みとしてマイケル・ポーター教授のファイブフォース理論には、様々な重要なコンセプトが含まれており、業界構造分析が可能になる。このフレームワークを図式化して示した上で、内容を説明し、「5つの力」は何を決めるのか、例示しながら答えなさい。

問題2 企業経営を成功させるために、事業領域を定めるべきであるという議論は、古くからあり、「ドメインの定義ないし設定」が経営上、有効であると言われている。ドメイン設定のレベルについて具体的に図式化して示した上で、ドメイン設定が必要な理由とその機能や意味について、例示しながら答えなさい。

問題3 事業には安定性が必要であり、持続的に競争に勝つことが求められている。持続的な成功に関する理論の1つに資源ベース戦略論がある。資源ベースの戦略論の主張や命題を簡潔に説明した上で、経営資源の4つのカテゴリー分類を明示し、なぜ業績格差が説明可能なのか、具体的に答えなさい。

問題4 顧客にとっての価値を分析することはビジネスモデルを設計する時に最も重要な事項となっている。その中でブルーオーシャン戦略は、経営実務とコンサルティングでよく使用されているが、レッドオーシャンとブルーオーシャンは何が異なるのか、表にして具体例に基づいて説明しなさい。その際、この概念枠組みは、市場競争の要因において何に着目し、経営者に対して、どのような具体的な含意を与えているのか明記しなさい。